

2020年2月20日

「一部の方への日本化粧品検定無料招待企画」に関する経緯報告 と今後の対応について

一般社団法人日本化粧品検定協会
代表理事 小西さやか

平素、一般社団法人日本化粧品検定協会（以下、当協会）の活動にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当協会が実施しております日本化粧品検定（以下、当検定）への無料招待企画及び当協会の広報PR活動に関しまして、多大なるご心配とご迷惑をおかけ致しましたこと、深くお詫び申し上げます。以下、本件の経緯と今後の対応策につきましてご報告申し上げます。

■経緯

当協会では、当検定の認知度向上を目的とした広報活動の一環として、インフルエンサーの方々に向けて、SNS等への掲載を条件に教材の無償提供及び受験料免除の企画を行っておりました。2017年秋実施の第9回検定より開始し、第14回の検定試験においては、26名の方が参加予定でございました。

今回のPRに関しましては、クレジットの明記がなく、コンプライアンス上、またWOMマーケティング協議会の定める、「WOM」ガイドライン」に則った運用となっております。当協会の管理体制に大きな問題があったと認識しております。

尚、検定試験の運用に関しましては適正に行われており、招待した方の合格率は全受験者の合格率と比べ低い状況でありました。※

■今後の対応策

第14回の検定試験への無料招待企画は中止と致し、今後も無料招待企画は一切行いません。既に第14回検定試験にお申し込みの方のうち、受験を取り止めるご意向の方に関しましては全て検定料の返金を行います。

また、再発防止策としまして、第三者からなる倫理委員会を2月末までに発足し、広報PR活動に関するルールの見直し、その他の協会が主導する施策につきましても、月次で

の定例会の場にて多角的複眼的に監視する体制に致します。

尚、今後の具体的な動きにつきましては、公式ホームページ等を通じ、随時皆様にご報告してまいります。

当協会は化粧品を売る人、使う人、情報を発信する人に、正しい知識を伝えるという理念で活動してまいりました。これからも「化粧品の正しい知識を普及する」という強い信念の元、協会活動を継続していく所存でございます。

改めまして、この度はご心配とご迷惑をおかけしましたこと、お詫び申し上げます。尚、今後の対応について、ご不明点等がございましたら、以下のフォームよりお問い合わせくださいませ。ご質問の内容により、個別での回答ができかねるものがございますこと、予めご容赦ください。

【お問い合わせフォーム】

<https://cosme-ken.org/inquiry/>

※参考 第13回検定合格率

招待企画参加者の合格率

2級：60.5%

1級：55.6%

全受験者の合格率

2級：74.8%

1級：67.4%